

## 令和5年度第4回湖北圏域地域医療構想調整会議 議事概要

日 時：令和6年3月28日（木） 18:00～19:00

場 所：滋賀県湖北合同庁舎 第1会議室

出席委員：◎森上委員、手操委員、西川委員、西井委員、高折委員、納谷委員、  
楠井委員、松岡委員、永田委員、桐山委員、西山委員、鵜飼委員、  
横田委員、松岡委員、嶋村委員 （※ ◎議長）

欠席委員：吉居委員【代理出席：高野看護部長（長浜赤十字病院）】、宇田委員

傍聴者：4名

事務局：滋賀県長浜保健所

### 議事の経過概要

開会 18:00

あいさつ 滋賀県長浜保健所長 嶋村

### 議題

#### （1）公立病院経営強化プランの策定について

長浜市病院事業より資料1-1について説明。概要は以下のとおり。意見などは特になし。

病院事業 本日、公立病院経営強化プランの策定について報告し、令和6年3月29日に滋賀県へ提出予定。本計画を今年度中に策定することが、今後、公立病院の修繕等の補助金を受ける条件であることは、前回の本会議において説明済みだが、現在、医療機能再編の協議が継続中であり、本計画の期間内に医療機能の見直しが行われた際には、本会議との整合性を図るため、必要に応じて計画の見直しを行っていく。パブリックコメントでは1人から6件の意見をいただいたが、主に長浜市立湖北病院の建替えに関するものであり、今後の長浜市立湖北病院および湖北やすらぎの里施設整備計画などに反映していくため、本計画に変更はない。滋賀県との協議では、新興感染症の拡大に備えた平常時の取組みや、医師、看護師等の働き方改革などについて、文言の修正を行ったが、大きな変更はない。

議長 本計画について、合意として良いか。

（異議なし）

合意とさせていただきます。

#### （2）各医療機関の具体的対応方針について

事務局より資料2-1、2-2について説明。概要は以下のとおり。意見などは特

になし。

- 事務局 資料2-1の4のとおりとしたい。  
議長 事務局案のとおり合意として良いか。  
(異議なし)  
合意とさせていただきます。

### (3) 次期滋賀県保健医療計画について

事務局より資料3-1、3-2について説明。その後、質疑応答、意見交換が行われた。概要は以下のとおり。

- 議長 湖北区域は医師多数とされているが、面積や交通インフラ、高齢者人口などを考えると違和感がある。具体的な施策の取組み内容は従来と同様か、新たに加わったことはあるか。
- 事務局 医学生向けの貸付金は従来からあるが、対象を拡大している。また、キャリア形成支援のために新規の予算を確保している。
- 委員 2035年を目途に医師不足はある程度解消されると言われているが、旧伊香郡周辺では病院勤務医もさることながら、診療所の医師が1人抜けると後が埋まらない。総合診療医を育成したり確保したりして、そこを代替する仕組みを構築していかなければならず、そのためにいろいろなイベントを開催することが必要。また、現在は医師不足が話題となっているが、今後は看護師不足が危機的な問題となると考えている。県立看護専門学校では入学定員が充足していない状態であるが、看護師を志す動機付け、意義付けができるイベントを開催できていない。この地域において、10年先、20年先を見据えて、看護師を確保するイベントを検討するなど、看護師の育成に力を入れて取り組む必要があると考える。
- 議長 湖北区域内での医師数の偏在が問題。これから北部の開業医がだんだんと減っていくことは目に見えており、湖北医師会として危機感を持っている。後を継いでくれる人がいなければ、長浜市立湖北病院だけになりかねない。
- 委員 その危機感を持っており、滋賀医科大学の総合診療科と一緒に、総合診療医を育てるプログラムを始めている。しかし、人を育てたり、誘致したりするにはお金がかかる。長浜市だけではなく、いろいろなところを含めて、本会議の中で人を育てる枠組みを考えていくことが大事だと考えており、ぜひ協力をお願いしたい。
- 委員 滋賀医科大学の総合診療科教授は北海道で活動されていたが、北海道では自治体からのお金を元に人を集め、育て、それぞれの地区の小さな病院や診療所を維持していると聞いている。離島の医療と同じように、へき地ではどうしても収益の面で効率が悪くなるため、維持するためには一定の行政の力が必要だと

考える。検討いただくようお願いしたい。

#### (4) 湖北圏域における入退院支援の現状について

事務局より資料4について説明。その後、質疑応答、意見交換が行われた。概要は以下のとおり。

- 委員 素晴らしい取組みで、これをずっと続けていくことが大事であり、看護師の他、ケアマネジャーや介護士などの介護関係の人材を育てる仕組みが必要。医療と介護は連携しなければ成り立たず、どちらかだけでできるものではない。我々も考えていくので協力をお願いしたい。
- 委員 新型コロナウイルス感染症により一時期停滞していたが、5類に移行し、再び湖北ルールに則り活発に活動できていると考えている。ケアマネジャーから病院は敷居が高く、言いにくいことがあるとの声を聞いており、できるだけ対面で、フラットな関係で話合いのできる場を持つよう努力している。
- 委員 訪問看護を利用する方が入院された場合、ケアマネジャーも情報提供されるが、看護師の立場からも看護サマリーにより情報提供している。病院と訪問看護では視点が異なるため、入院された方の医療や看護に役立つ情報は何か、いつも考えながら看護サマリーをまとめている。退院カンファレンスなどによる情報提供はありがたいが、入院中の状態変化、特に介護度が上がったたり、医療処置が増えたりしそうな場合には、退院を待たずに早めに情報をいただくことで、早めにケアマネジャーに相談でき、サービスの調整など、退院後、在宅での安心した生活を送れる形がとれると考えており、入院中から連絡を取るよう心掛けている。
- 委員 ケアマネジャーの人材不足は深刻になってきており、探してもタイミングによっては受けてもらえない状況がある。行政と協力し、人材不足を解消できるようにしたいと考えている。入退院支援のシステムに関して、湖北圏域では20年ほど前から湖北医師会と介護支援専門員連絡協議会、長浜市、米原市が共同し、湖北圏域独自のツールを入院時にケアマネジャーが持って行くという土壌があったので、これまでの積み重ねがあり今の高い稼働率があると感じている。昨年度のシステムの見直しにより、訪問看護をシステムに加え、ケアマネジャーの意向を取り入れていただき、より良いシステムとなったが、運用するのは人であるため、人と人との関係も良くしていかなければいけない。今年度、市立長浜病院の地域連携室の方が地域包括支援センターに1日研修に来られたが、そこで関係が築け、相談しやすくなった。ケアマネジャーと病棟や地域連携室の看護師とが顔の見える関係を作っていくことが大事。今年度は湖北薬剤師会と共催で研修をさせていただいたので、来年度以降に病院の看護師と交流できるような研修を開きたいと考えており、関係機関の方には協力をお願いしたい。
- 委員 医療と連携している事業所は看護小規模多機能型であり、訪問看護と通い、泊り、訪問介護ができる。退院されたが医療が必要、吸引などが必要という方の利用が

ほとんどで、常に定員いっぱいの状態である。昔であれば、一通り頑張った後の50代、60代の看護師が在宅を支えていたが、看護の教育プログラムが変わり、学生時代に在宅を看ているためか、近年は若い方の就職率が上がっている。20代、30代の看護師は学べる環境でないと不満が伴うため、病院と在宅の看護師、リハビリ職が連携し、一緒に人材を育成できるようなシステムがあればありがたい。介護職は看護師以上に人材難が深刻な状況。介護職は無資格、受講して取れる資格、国家資格に分かれ、知識、技能が異なる中で、一体となって動いていくためには、人材育成が重要になるが、行政と連携しながら人材育成を図らなければ、一定のレベルには達しないと考えている。また、外国籍の職員が増えているが、介護福祉士の資格を取得しづらい状況。次年度以降、外国籍の職員が介護福祉士の資格を取得できるようなシステムを作りたいが、官民が協力しなければ難しいと考えている。今日は議題に上がっていないが、重症心身障害児や医療ケアの必要な方のレスパイトについて、近年ずっと課題となっており、小児科との連携が図られると安心できる。

- 委員 障害児等のレスパイトについて、当院も県からの打診を受けているが、なかなか難しい。特に障害児のレスパイトは娯楽的な要素を整備しておく必要があると考えており、看護小規模多機能型で受けていただき、当院がバックアップする形が望ましく、検討いただきたい。県の調査に関して、9割は情報連携ができており、今後はその質を調査する必要がある。ADLが回復途上にある人が課題とされており、在宅におけるリハビリの継続性や栄養面の継続性がどうか調査いただけると、質についての評価ができるかもしれない。特に日常生活動作について、どこまでできるかという介護認定審査のような視点より、難しいかもしれないが、実際にどこまでやっているかという実態を調査すると良いのではないかと考えている。
- 委員 当院とケアマネジャーとで顔の見える関係を築けたことはありがたいと思っており、そのような交流は今後も推進していきたい。また、在宅においても専門的な看護の技能等に興味を持ってもらえるとのことなので、交流することによりお互いに情報交換できると考える。当院の課題はMSWの介入不足であり、看護師だけでなくMSWからも情報を提供できるような体制を築きたい。
- 委員 専門看護師や認定看護師、特定行為のできる看護師を派遣し、研修する出前講座を行っている。病院で行う研修などにも参加いただけるよう、積極的に声かけをさせていただく。ぜひ交流したいと考えている。
- 議長 湖北医師会でも前会長の時代から顔の見える関係づくりを大事にしており、それを続けていきたいと考えている。
- 委員 当院の建替えの件について、滋賀県と総務省に書類を提出している。最終の返事はまだであるが、許可は下りそうということであり、本会議のみなさまのおかげと感謝申し上げます。長浜市長が議会等において、本会議の合意事項である建替えについて、指定管理の実現の如何によっては行わないとする発言があり心配したが、最終的には否定された。なんとか建替えの目途が立ったことで、患者さんに

安心していただき、職員一同前向きに進んでいくことができる。本当にありがとうございました。

閉会 19:00